



戦災後の睦町校地に建った2代目講堂



宇都宮須賀高等学校
初期の校章



旧体育館



昭和43年頃の正門と校舎



創立90周年記念須賀栄子記念講堂と本館

学校法人
須賀学園
since 1900



宇都宮短期大学・宇都宮共和大学 長坂キャンパス



宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス



宇都宮共和大学 那須キャンパス



睦町キャンパスに整備された宇都宮短期大学附属中学校・高等学校



学校法人 須賀学園
創立120周年記念誌



全人教育で個性を発揮し、地域社会への貢献をめざして

須賀学園の創立120周年にあたり、記念誌を発行できますことは、私の大きなよこびととするところであります。

顧みますと西暦1900年(明治33年)11月3日、須賀栄子が27歳の女性の身をもって本学園を創立して以来、120年。明治・大正・昭和・平成・令和と幾多の風雪はありましたが、おかげさまで宇都宮短期大学附属高等学校・中学校、宇都宮短期大学、宇都宮共和大学と今日の姿に発展することができました。これもひとえに卒業生、在校生、ご家族、教職員の皆様のご尽力と、温かく支えてくださいました多くの関係者各位のご支援によるものと、深く感謝いたしております。

本学園は、創立者の須賀栄子、須賀友正、そして須賀淳、私と4代にわたり「全人教育(人間形成の教育)」という建学の精神を受け継いで、私学教育に邁進してまいりました。特に学園創設時や校舎が灰燼に帰した戦中・戦後等、激動の時代の苦難を乗り越えて、現在に至っています。

卒業生は66,400名、在校生は3,300名を擁しておりますが、これは一朝一夕になしえたものではありません。私は、つねに自粛自戒して創立者の理想を継承し、本学園の教育研究の充実に努め、学生生徒の指導と支援に全力を傾注する所存です。

教育は人間の仕事のなかで最も尊いものであると同時に、最も難しいものであると思います。そして時世はつねに移り変わります。教育もまたその時代の要請に応じて、新しく脱皮してゆかなければなりません。古きのみを守ってはいけませんし、また新しいものばかり

を追っていてもいけません。孔子は、「故きを温ねて新しきを知れば、以つて師たるべし」とっております。現在は、DX(デジタルトランスフォーメーション)やグローバル化という大きな構造変革期に入っています。教育へもたらずであろうその可能性と課題を見据えながら、本学園をさらに発展させてゆく決意を新たにしております。

皆様にはこれからも末永く、本学園に対しまして変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

在校生の皆さんには、意義ある創立120周年に際し、本学園の長い歴史と良き伝統を思い、「一人は一人を代表する」という生活目標のもと、一心に勉学に励んでいただきたいと願っています。

一人は
一人を
代表する



須賀学園 理事長 須賀 英之

東京大学経済学部を卒業。日本興業銀行(現みずほ銀行)に勤務。産業調査部主任部員、本店営業部・業務部副部長などを歴任し、平成12年須賀学園に戻る。現在、学校法人須賀学園理事長、宇都宮共和大学長、宇都宮短期大学長、同附属高等学校・中学校校長、栃木県私学審議会委員、栃木県文化振興審議会会長、栃木県交響楽団会長、宇都宮まちづくり推進機構理事長、栃木銀行社外監査役などをつとめる。

120 YEARS OF HISTORY 沿革

1900年(明治33年) 須賀栄子により須賀学園創立(宇都宮市西塙田町)
1910年(明治43年) 宇都宮市松が峰2丁目(現 須賀学園研修所)に移転
1934年(昭和9年) 創立者須賀栄子校長逝去 須賀友正校長に就任
1945年(昭和20年) 宇都宮大空襲により全校舎焼失
1946年(昭和21年) 宇都宮市睦町1丁目(元 陸軍野砲兵連隊・現 睦町キャンパス)に移転
1948年(昭和23年) 学制改革により宇都宮須賀高等学校となる
1964年(昭和39年) 高等学校に音楽科設置
1965年(昭和40年) 宇都宮市下荒針町にグラウンド(現 長坂キャンパス)を開設
1967年(昭和42年) 宇都宮短期大学音楽科設置(長坂キャンパス)
1967年(昭和42年) 須賀友正 宇都宮短期大学学長に就任
1968年(昭和43年) 高等学校は宇都宮短期大学附属高等学校と校名変更
1982年(昭和57年) 須賀友正理事長・学長逝去 須賀淳理事長・学長に就任
1983年(昭和58年) 宇都宮短期大学附属中学校設置(中高一貫教育)

1999年(平成11年) 那須大学(現 宇都宮共和大学)都市経済学部設置(那須キャンパス)
1999年(平成11年) 須賀淳 那須大学学長に就任
2000年(平成12年) 須賀学園創立100周年記念式典を挙行
2001年(平成13年) 宇都宮短期大学に人間福祉学科設置
2003年(平成15年) 須賀英之 那須大学学長(現 宇都宮共和大学)に就任
2004年(平成16年) 須賀英之 宇都宮短期大学長に就任
2004年(平成16年) 須賀学園教育会館を開設
2006年(平成18年) 那須大学は宇都宮共和大学シティライフ学部と名称変更
2006年(平成18年) 宇都宮共和大学に宇都宮シティキャンパスを開設
2011年(平成23年) 宇都宮共和大学に子ども生活学部設置(長坂キャンパス)
2017年(平成29年) 宇都宮短期大学創立50周年記念式典を挙行
2019年(平成31年) 宇都宮短期大学に食物栄養学科設置
2020年(令和2年) 須賀学園創立120周年



人間形成の教育に全生涯を捧げた学園の創立者 須賀 栄子

1873(明治6)年、群馬県館林の藩士 須賀正直の六女として生まれる。生後一ヵ月で母を、また3歳で父も亡くしたため、明治天皇の皇女養育の女官を務めていた長姉寿賀が郷里に戻り、高度な教育と厳格な躾のもと幼少時代を送った。
寿賀の栃木県尋常中学校(現在の県立宇都宮高校)の赴任に伴い、宇都宮に移住。市内で唯一の東小学校に入学し初等科および中等科を首席で通し、それぞれ卒業式には答辞を読んだ。同年、県に一校だけ設置された尋常中学校の女子部に入学し、1888(明治21)年に卒業。翌年、名門の東京神田の大成学館に入学し、英語・数学・物理ほか当時の最先端の教育を受けた。
修業後は姉の運営する「宇都宮裁縫専修所」に勤めた後、1900(明治33)年に弱冠27歳で、本学園の礎となる県内初の私立女子の教育機関「共和裁縫教習所」を開設した。以来35年間教育に全精力を捧げ、1934(昭和9)年に天皇単独拝謁日の直前に、脳溢血で急逝した。
「明るく豊かな国家社会の基礎は健全な家庭の建設にある。」という信念のもと、若い女性たちに世界平和に通じる真の使命を自覚させ、共和の精神で実践に徹する堅実で気品高い女子教育に力を尽くした。

戦災から復興し学園を発展させた2代目理事長・宇都宮短期大学創立者 須賀 友正

須賀学園が誕生した翌年の1901(明治34)年に生まれる。生涯独身であった叔母・栄子の甥で養子となった。県立宇都宮中学校(現在の宇都宮高校)を首席で卒業後、蔵前高等工業学校(現在の東京工業大学)を1923(大正12)年に卒業。当時、トップ商社であった高田商会に入社して、ドイツに赴任することが決まっていたが、関東大震災のため宇都宮に引き揚げ、県立宇都宮工業学校(現在の宇都宮工業高校)の教員となる。ピアノが得意であり、数学・物理を教える傍ら、式典での君が代演奏や宇工創立5周年記念に制定された校歌の作曲などにも活躍した。
栄子急逝後、33歳の若さで本校の校長に就任。和裁や礼法の教師であった妻・華子とともに教壇に立ち、学園を継承・発展させた。
1946(昭和21)年には、全国屈指の工業高校である県立足利工業学校校長(現在の足利工業高校)を兼任し、戦後の同校の再建の大任も果たした。また、栃木県公安委員長を6期に亘りつとめた。1971(昭和46)年、勲三等瑞宝章を受章。1982(昭和57)年、逝去。
当時の生徒によれば、「古武士の面影の中にも、温かみをひめた友正校長先生」と記されている。



歴史を語る学校施設



共和裁縫女学校



創立40周年に講堂を新築(戦災で全焼)



戦災前の校舎前景(松が峰校地)

近年の学校施設の充実



ラーニング・commons教室



第3体育館



硬式野球場

INDEX

理事長あいさつ	01	在校生のことば	08
須賀学園のあゆみ	02	学園生活〈宇都宮短期大学附属中学校・高等学校〉	09
学園長インタビュー	03	学園生活〈宇都宮短期大学〉	11
卒業生のことば	05	学園生活〈宇都宮共和大学〉	12
教職員のことば	07	須賀学園 年表(2001~2020年)	13

学園の中で生まれ育ち、東大卒業後は文部大臣秘書官などを務めて、1968年に須賀学園に戻られて以来、現在もお元気に勤務されている須賀 淳先生（3代目理事長・須賀学園学園長）に、須賀学園の温故知新をお伺いしました。



須賀学園 学園長・3代目理事長
須賀 淳

昭和24年東京大学を卒業。文部省に勤務、文部大臣秘書官、初等中等教育局教科書課長、初等教育課長などを歴任し、昭和43年須賀学園に戻る。栃木県私立中学高等学校連合会長、栃木県公安委員長などをつとめた。

本校前庭にある須賀栄子先生の銅像の台座についてお聞かせください。

栄子先生から献身的な教育を受けた卒業生の手で、先生が急逝された翌年に先生の大きな銅像が校庭に建立されました。碑文には、その出生から教育一筋の功績が認められて天皇陛下から単独拝謁を賜るまでが記されています。

その銅像は、太平洋戦争中の貴金属供出令により国に献納され、残された台座は宇都宮大空襲で焼け、大きなひびが入りました。その台座を2010年に旧校地から睦町の現校地に移し、戦災復興記念のモニュメントとしました。



須賀栄子先生の銅像台座

お祖母様としての栄子先生は、とても子煩悩な方であつたと伺っています。

栄子先生は生徒と寝起きを共にしておられましたので、私は校内の寄宿舎に遊びに行き、学校に泊まることもよくありました。栄子先生から当時としては高価な子ども用の自転車を買ってもらい、また夏休みには避暑地の河原子海岸（茨城県日立市）に連れて行ってもらいました。そこには学校経営を一身に背負った女性校長の姿はなく、一緒に生活できたことは良い思い出です。

栄子先生の生い立ちからして、学校の教育理念が形成されたのではないのでしょうか。

御存命であれば147歳になります。先生の御両親が早く亡くなったので、幼な子を育てるために長女の寿賀が宮中の勤めから郷里に戻りました。その寿賀は明治天皇の女官として皇女の養育に当たっていましたから、栄子先生兄妹たちはおのずと厳しく筋の通った教育や躾を受けたと思います。

栄子先生が小学4年の時に手作りしたコンパス（直井研二氏複製・写真）があります。先生が兄姉の多い中で贅沢せずに黙々と勉強した姿や、賢さ、器用さを彷彿とさせます。



コンパスの複製

27歳、独身で自ら本校を創立されました。

栄子先生が学ばれた栃木県尋常中学校（現在の県立宇都宮高校、当時は女子部があつた。）の卒業生の進学先を見ると錚々たるものです。栄子先生は利根川にやっと鉄橋が架かった頃の1889年に上京し、名門の大成学館で学び、世界情勢に開眼されました。官尊民卑や男尊女卑の時代にあつて確固たる女子教育への信念を持ったのでしょう。

それにしても当時の女性の地位に鑑みても、27歳で「共和裁縫教習所」を創立した情熱・闘志には感嘆し、敬服のほかありません。

1910年の創立10周年には、松が峰の新しい校地に大きな本館を新築しました。前庭の石畳はいつもきれいに掃き清められ、保護者がその場で草履を脱いで出入りしたというエピソードは、現在に語り継がれています。

年々、入学志願者が増えて、1910年に松が峰の校地（現在の須賀学園研修所はその一部）を購入しました。本館は和洋折衷の2階建て2棟で、そのほかに大きな教室が4棟あり、寄宿舎もありました。当時の記録には授業料月60銭、寄宿舎費 食事込み8円と記されています。学校では昼間に生徒が縫った和服を職員が夜に点検し、それを更に確認する深夜の校長栄子先生の姿がありました。創立15周年記念には校旗（写真）を制定し、創立以来の卒業生は743名になりました。



戦前の校旗



創立の翌年、共和裁縫女学校となる（明治34年）

生徒増を迎えて1922年、足尾銅山の大きな建物を払い下げて貰うために、その解体作業に出向いた先生の武勇伝は有名です。

生徒数増加に伴い教室が不足しましたので、11月に職人10数名を引き連れて足尾へ行き、翌3月の雪解けを待ってその建物を移築し、8月末に第4・第5校舎が竣工しました。その直後、9月1日の始業式当日に関東大震災がありましたが、栄子先生は不屈の魂でそれ乗り越え、翌年、文部大臣認可（今は短大・大学が文部大臣認可）の「宇都宮須賀女学校」となり、卒業生は専攻科および研究科を含め2,600名を数えました。本校の研究科を卒業すると、小学校専科教員の免許状が交付され、現在の短大のランクになりました。研究科には栃木県内外の県立女学校の卒業生も多数入学し、学校は大きく発展しました。丁度その年に私が生まれたのです。



文部大臣認可の宇都宮須賀女学校

1929年から世界大恐慌、日本の農村恐慌に見舞われ、学校にとって大きな試練となりました。

本校は県内初のバザーが名物催事となり、第一次世界大戦後の好景気により入学志願者も増加して隆盛を極めました。この世界大恐慌と日本の農村恐慌により、一転して学校運営は大きな痛手を受けました。このため、栄子先生が還暦の1932年には、全校生徒数は5年前の半数に激減してしまいました。これは県立学校も同様でした。

それにめげず先生は打開策を講じて、「宇都宮女子高等職業学校」と改称し、財政困難の中、特待生制度も充実させました。

1934年に先生の功労が国から認められ、天皇陛下から単独拝謁を賜る栄誉を頂きました。しかし、その直前に突然の脳溢血で急逝されました。前日まで、陣頭指揮を執り続け、教育に身を捧げた生涯でした。



宇都宮女子高等職業学校の和裁授業

以上、学校の変遷と栄子先生の足跡を伺ってきましたが、ここで卒業生から寄せられた声をもとに。

第2期生の手記には、「校長先生は、並びなき英才とうたわれ、気品高く、優れた識見をもち、若々しくご立派でした。」「勉強としつけの両面から厳しく鍛えられた。」と記されており、栄子先生の身を挺しての教育方針が察せられます。その一方で、「日曜日には寄宿生を連れてハイキングに行き一緒に歌いました。」と楽しく家庭的な思い出も綴られています。

校長の立場でなく、我が子を育てるように慈しみをもって接した様子が偲ばれます。

本校創立時には、栃木県には女子校が県立の宇都宮女学校1校しかなかったので、本校には栃木県をはじめ遠くの県からも裕福な家庭の子女が入学して、レベルの高い女学校でした。寄宿舎には県内外から多数の生徒が集まりました。

1922年の卒業式の式辞が、卒業生の励みになっていると伺いました。

「初心忘るべからず、全人教育（人間形成の教育）の理念を守るために私はすべてを尽くした。」という創立者栄子先生の気持ちが込められています。「これからの人生には多くの苦勞が待ち構えているかも知れないが、一步一步を踏み固めつつ、先人の足跡をただ追うのではなく、自分の力で新しい足跡を刻もうではないか。」と、今日でも胸の奥底に響く言葉を卒業式の式辞に残されています。

結びに、これからの学園に第3代の淳先生が託す思いを、お聞かせください。

創設者が掲げた建学の精神が、時代の変化と社会のニーズに呼応しながら、これからも受け継がれていくことを願っています。

創立時からの個性溢れる教育研究を通し、世界に羽ばたく新しい教育のあり方を追求してほしいと思います。

インタビュー後記

文部省から学園に戻られて以来半世紀余、96歳の現在でも矍鑠として多数の先生方とともに大きな職員室の真中で勤務されている須賀淳学園長に、創立者須賀栄子先生の思い出と歩みを語って頂きました。私は高校音楽科の第3期生として友正先生・華子先生の時代から今日まで、学園の発展と共に50余年お世話になっていますが、第3代の淳先生のお話を伺うことができ、至福の時間となりました。



インタビュー
宇都宮短期大学 副学長 直井文子

足利市出身。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科第3期生。桐朋学園大学ピアノ科を卒業と同時に本学に勤務し、これまで数多くの演奏家や音楽指導者を社会に送り出している。



調理科

(株)日本ハウスホテル&リゾート
常務取締役 グループ総料理長

相澤 敬一

調理科は、同じ夢、同じ道を志す仲間が大勢いました。料理の世界に入り、調理科卒業生の活躍を拝見するたび、誇らしく思うと同時に自分も頑張ろうと元気を頂いています。「美味しい料理で幸せになってもらいたい」という、私の卒業時の目標は変わっておりません。



情報商業科

(株)栃木銀行 鹿沼支店
渉外係

阿部 一祥

ソフトテニスに青春を捧げた3年間でした。インターハイ出場を果たし、仲間と共に見た沖縄の景色は今も忘れません。現在は、地域のお客様が、事業価値の維持・向上や安定した資産形成を図れるよう、抱える課題や悩みの解決をサポートしています。



普通科 特進コース

弁護士法人協和総合パートナーズ法律事務所
弁護士／公認不正検査士

安部 拓也

企業買収等の戦略法務及び訴訟・危機管理対応等の臨床法務に従事しています。高校時代は、自分の考えや想いに大きな影響を与えてくれた得難い3年間でした。たかが3年間、されど3年間です。高校生活を糧に頑張っております。



普通科 特進コース

(株)カプコンUSA ブランドマーケティング
ブランドマーケティングマネージャー

井上 卓也

日本のゲームを如何にしてファンの手に届けるか、日々奮闘しております。自由に探究し伸ばす事が出来る校風のおかげで「大好きなゲームを仕事にする」、今の自分があります。海外の第一線で、ファンの皆様のために努力しています。



情報商業科

株式会社ニッカネ
代表取締役社長

金田 陽介

高校時代、まだパソコンの普及も少ない中で情報や商業を学べたことが、今の仕事の基礎となりました。商売の世界にチャレンジしたいという気持ちが生まれたのです。これからも感謝の気持ちを大切にして、食品流通を通じて社会に貢献できるように努めてまいります。



普通科 特進コース

医療法人 英心会
理事長

倉持 太郎

私の在学していた頃は、野球部やサッカー部はありませんでした。今では県代表を争うまでになり、文武両道の学校に成長しています。私も母校の名に恥じぬよう日々精進して参りたいと思います。



普通科 応用文理コース

栃木SC(J2)
ディフェンダー

黒崎 隼人

高校生活3年間により、プロの礎を築くことができましたと実感しています。「一人は一枚を代表する」生活目標が私を大きく成長させました。一人のサッカー選手、人間として自覚と責任を持ち、栃木県を代表する選手になるために決意をもって邁進しています。



普通科 特進コース

tripila株式会社
代表取締役CEO

高橋 和久

社会をITの力でより便利にすることを目標に頑張っています。高校時代、社会に出る準備をすることが唯一できることだと考え、夜遅くまで勉強していました。先生たちが全力で応援してくれたことが大切な思い出です。



普通科 特進コース

三井化学(株)
生産技術研究所

上野 篤史

高校時代、自分のやりたい事を模索する中で、授業を通して化学の素晴らしさに気付くことが出来ました。博士課程修了、ドイツ留学を経て現職に就いています。母校に誇れるよう、これからも精進していきたいと思っています。



普通科 進学コース

株式会社せきさん
専務取締役

薄井 一樹

人生の原点は高校時代でした。現在、伝統産業である日本酒の醸造を行っています。全国へ発信し、全世界と交易するために多くの人たちとコミュニケーションをとっています。基礎を築いてくれた先生方や仲間たちに、心から感謝し、今後も邁進してまいります。



普通科 特進コース

東京都大森赤十字病院 整形外科部長
Jリーグ 横浜FCチームドクター

大日方 嘉行

高校入学時には想像すらしていなかった医学の道へと進み、今は2つの現場で働いています。何事も諦めずにチャレンジしてみましょう。本校の後輩と一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



普通科 特別選抜コース

自治医科大学医学部
5年生

小倉 竜雅

現在、医師になるための研鑽を積んでいるところです。思えば私が中高校生の頃からスマートフォンが本格的に普及。情報化社会の中、後輩の皆さんも、受験に限らずたくさんの情報に触れています。玉石混濁の情報の中から、正しい情報を得て活かしていきたいです。



普通科 中高一貫コース

石橋総合病院 医局長 麻酔科医長
麻酔科医 スポーツドクター

鶴見 友子

6年間を同じ学び舎で過ごし、学間で切磋琢磨した友は、卒業後も深い絆でつながっています。地域医療に携わりながら、地域の方々へ音楽を届ける活動も行っています。健康と安全な医療を提供することに邁進しています。



普通科 特進コース

下野新聞社
編集局記者

手塚 京治

厳しくも温かなご指導のおかげで、高校生活を通じ人生の基礎を築くことができました。栃木県内で新聞記者として働く今、様々な分野で活躍する同級生たちと再会する機会があり、かけがえのないものを得た3年間だったと実感しています。



宇都宮短期大学附属中学校

株式会社スタジオソレイユ代表
漫画家

藤榮 道彦

ノートに鉛筆描きの漫画をクラスメイトに見せていた頃が、つい先日のように思い出されます。30年以上の月日が流れ、人と仕事との出会いに恵まれて数十冊の単行本を出すことができ、作品がテレビドラマにもなりました。あの頃の漫画に抱いていた情熱を忘れないよう、これからも精進してまいります。



生活教養科

航空会社勤務

中村 葵

日本の玄関口である羽田空港国内線で勤務しています。高校時代に学んだマナーや立ち居振る舞いが活き、外国籍の同僚が多い中でも、力を入れていた英会話が役立っています。夢を叶えることをサポートして下さった先生方に感謝しています。



普通科 中高一貫コース

A.T.カーニー株式会社
経営コンサルタント

片柳 将彰

学園で過ごした6年間は、私の礎となっています。「全人教育」という理念のもと、何かに本気で打ち込める環境は、(時代を超えた)不変的、(個人を超えた)普遍的な学びをもたらしてくれました。先生方とクラスの仲間たちに感謝しています。



宇都宮短期大学附属中学校

Apple(シリコンバレー)
シニアプログラムマネージャ

勝野 利恵子

私の学校生活は、将来をよく考えるのに最適な環境でした。あの頃の気持ちをそのままに、テクノロジーを活用して、世界をより住みやすくするよう「物づくり」を続けていきたいと思っています。後輩の皆さんも世界に羽ばたいてください。



調理科

横浜ロイヤルパークホテル
中国料理 料理長

加藤 賢一

高校で過ごした3年間は、私にとって料理人の第一歩であり、料理を作る楽しさを学んだ場です。現在もその教えを忘れずに、母校の名に恥じぬよう中国料理の研鑽に努めています。後輩の目標を叶える学びの場として、益々の発展を祈念しております。



普通科 特別選抜コース

(独)日本芸術文化振興会
国立演芸場部演芸課企画制作係

金子 慎

国立劇場の演芸場で行われる落語などの主催公演を企画・制作しています。高校時代は、先生の手厚いご指導を受けられたことはもちろん、意識の高いクラスメイトと、切磋琢磨しながら大学受験に向かっていったことがとても良い経験でした。



音楽科

歌手・ミュージカル俳優
元劇団四季

沼尾 みゆき

大好きな母校が120周年を迎えると同じ、大変嬉しく誇らしく思います。卒業して以来いつも、在校生のお手本になれるよう精進しています。お世話になった先生方への感謝と共に、今後も歌い続けたいと思います。



音楽科

東京藝術大学声楽科
4年生

早川 愛

高校在学中は、学内外で沢山の演奏の機会をいただきました。大学入学後もその経験に支えられ、卒業生としての誇りと自信を持って歌の勉強に励んでいます。これからも音楽の道に精進し、いつか日本と世界を音楽で繋ぐ歌手になることが私の夢です。



普通科 特進コース

東京ベイ・浦安市川医療センター
医師

古川 佳容子

早いもので卒業から四半世紀が経ちました。伝統ある本校を卒業したことは、私の誇り、人生の糧です。母校のますますの発展と後輩の方々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



普通科 特別選抜コース

東京大学文科三類
2年生

宮田 一馬

高校時代はまさに青春を勉強に捧げたと言っても過言ではないと思います。ただし、それは多くの人が思っているような苦しいものではなく、仲間と切磋琢磨し、それぞれの目標に向かって努力した、充実の3年間でした。今の自分は、高校時代あってのものです。



宇都宮共和大学
シティライフ学部 学部長

田部井 信芳

大学の開学以来20年間、大学で教鞭をとっています。この間、キャンパスは宇都宮に移り、学部も増設され発展し、社会を取り巻く環境も大きく変化しました。今後も須賀学園のさらなる発展を期待するとともに、その一翼を担うことができれば幸いです。



宇都宮共和大学
子ども生活学部 学部長

河田 隆

須賀学園創立120周年を迎えますことは、喜ばしい限りです。その歴史の20年間、学園に教員として奉職していることに大いに幸を感じ、感謝を申し上げます。地域の核となる人材の育成に全力で立ち向かい、学園の更なる発展に努めて参ります。



宇都宮短期大学
副学長 音楽科学科長

直井 文子

1964年設立の高校音楽科に3期生として入学し、在学中に宇都宮短期大学附属高等学校と改称されました。創立者の栄子先生は箏、友正先生は作曲、淳先生はアコーディオン、英之先生はキーボード。歴代校長のハーモニーに彩られた躍進の旋律が、聴こえてきます。



宇都宮短期大学
人間福祉学科 学科長

中川 英子

人間福祉学科では、2001年に開設以来、須賀学園の教育理念のもと、20年間にわたり、約1,900名の福祉人材を地域に輩出してまいりました。永年に亘り地域の教育・文化・福祉に貢献してきた須賀学園の更なる発展に、私自身も努力してまいります。



宇都宮短期大学附属高等学校
生徒会長 普通科 特別選抜コース 3年3組

阿部 蒼依

歴史と伝統、そして特色豊かなこの学校で創立120周年という記念すべき年に生徒会長を務めることができ、たいへん光栄です。生徒会を通じて多くの人と繋がり、多くの人に刺激を受け、自分自身を高めることができました。



宇都宮短期大学附属高等学校
普通科 進学コース 3年11組

安里 透摩

本校にはたくさんの学科やコースがあり、自分に合った道を選ぶことができます。一人一人に合った勉強ができる環境が整っており、わからないことがあれば、先生方や周りの友達が丁寧に教えてくれます。体操部で栃木県のチャンピオンになり、充実した高校生活です。



宇都宮短期大学附属高等学校
普通科 応用文理コース 3年13組

福田 稔希

120周年という長い歴史の重みを感じると共に、毎日明るい学校生活を送っています。普段の学校生活や部活動の硬式野球を通して培った、仲間とひとつの目標に向かって努力する経験により、人間として成長することが出来たと感じています。



宇都宮短期大学附属高等学校
普通科 特別選抜コース 2年3組

小関 浩斗

学力特待生として「リアルドラゴン桜プロジェクト」に参加し、勉強の意義や楽しさを学んでいます。素晴らしい友人や先生方に恵まれ、充実した日々を送っています。受験においても、悔いのないよう一生懸命に頑張ります。



宇都宮短期大学
食物栄養学科 学科長

百田 裕子

須賀学園120周年に向けて、県内初の食の専門職を養成する食物栄養学科の開設に関わることができたことを光栄に思っています。各専門分野で、心身共に健康でより良い生活を作ることのできる人材の育成を通して、本学園が益々発展するよう邁進してまいります。



宇都宮短期大学附属高等学校
教頭

萩原 俊和

これまでの歴史と伝統を生かし、これからの時代を切り拓くのに大切な素直さ、粘り強さ、優しさ、温かさ、思いやりをもった生徒たちを今後も育てていきたいと思っています。毎日、正門に立つて明るく元気な声をかけて励ましています。



宇都宮短期大学附属高等学校
教頭

齊藤 浩二

私学の振興につくされた須賀栄子先生から受け継いだ教えのもと、常に新たな指針で栃木県の私学の先頭を歩んでいく本校に勤務して今年で36年目。数多くの卒業生が本校に戻って、教壇に立つ姿を誇りに思っています。



講師(共和大・宇短大)
〈千葉商科大学 人間社会学部 教授〉

勅使河原 隆行

情報商業科を卒業して22年、私の教員生活は、人間福祉学科からスタートしました。学生は明るく元気で素直ですので、とても楽しい思い出ばかりです。学園の卒業生として、さらなる発展を心からお祈りしております。



宇都宮短期大学附属高等学校
普通科 特進コース 2年7組

中嶋 菜々美

入学後、色々な考えの人と出会い、ネイティブの先生方のおかげで英語力の向上に努めることができました。そうして留学する決心がつき、1年間留学しました。留学で学んだことを活かして、色々なことに積極的に挑戦しながら成長していきたいと思っています。



宇都宮短期大学附属高等学校
普通科 応用文理コース 2年12組

手塚 優奈

運動部生向けの「アスリートサポート」に参加し、効率的な学習方法や他の部活動生との交流を通してコミュニケーションスキルを学びました。高校生活の中で、新しい自分像を発見し、また文武両道を目指す集中力を高められたと思います。



宇都宮短期大学附属中学校
生徒会長 3年2組

齋藤 大陸

先生方の熱心なご指導や、気の合う仲間恵まれ、充実した学校生活を送っています。生徒会長として先輩方の功績に恥じぬよう、また後輩の手本となれるよう、何事にも全力で取り組み努力しています。



宇都宮短期大学附属中学校
2年1組

鷲足 祐香

最先端の授業を受けながら、優しい先生方や友人たちと共に、充実した学校生活を送っています。現在、未来創造大学のプログラムに参加し、水処理に関する研究に取り組み、発表では審査員特別賞を受賞しました。様々な経験を将来に役立てていきたいです。



宇都宮短期大学 音楽科 専任講師
(宇都宮短期大学附属高等学校 兼任講師)

鎌田 亮子

本校で充実した高校生活を送り、教員として戻ることが出来ました。生徒たちの顔を見て、音楽に溢れていた自らの高校時代を誇りに思っています。歴史ある須賀学園の伝統を胸に、生徒たちと音楽を通して豊かな心を育んでいきたいと思っています。



宇都宮短期大学附属中学校
主事

五月女 徳之

1983年に特進コースの5期生として入学しました。当時も生徒数が多く入学式で800名の同級生に大変驚いたことを覚えています。それから38年が経ち、教員として本校の発展と同じ時間を共有できることを意気を感じています。



宇都宮短期大学附属高等学校
教諭

東城 拓

先生方や友人と過ごした中高6年間はかけがえない時間でした。母校に戻り、夢であった教員として教壇に立てることを誇りに思います。生徒たちのために何ができるのかを考え、実践していくことで、母校への恩返しをしています。



宇都宮短期大学附属高等学校
教諭

小堺 香菜子

創立120周年という節目を、須賀学園の教員として迎えることができ光栄に思います。音楽科で出会った先生や仲間には、私にとってこれ以上ない財産です。教員として、卒業生として、音楽文化の向上に貢献できるよう日々精進してまいります。



須賀学園卒業生は
学園に戻り、
後輩たちの成長を
支えています。



誓いの言葉（中学校 入学式）



男子バスケット（スポーツフェスティバル）



1日旅行（東京大学）



日光大使館別荘サマーフェスト コンサート
（英国・イタリア大使館別荘）



インターンシップ（落合書店PLUS）



中学・高校合同秋季大運動会



合格を祈願して（入試激励会）



チアダンス部・野外ステージ（創立118周年記念学校祭）



ブリティッシュヒルズ語学研修



中庭コンサート



修学旅行（沖縄）



リアルドラゴン桜 特別授業



美しいハーモニー（合唱コンクール）



ハンガリー大使館との「ON LINE 交流会」



生活教養科ファッションショー（創立115周年記念学校祭）



金融教育プログラム（東証アローズ）



中学サマーキャンプ（TGGでの英会話実践研修）



オーストラリア海外研修



ヨーロッパ海外研修旅行(ウィーン)



須賀学園創立110周年記念演奏会



人間福祉学科 福祉演習



彩音祭 オープニング



彩音祭 ソーラン節ダンス



レクリエーション・フェスティバル



宇都宮短期大学創立50周年記念演奏会(彩音祭)



宇都宮短期大学創立50周年記念祝賀会



ミヤラジで番組放送開始



食物栄養学科設置



宇都宮シティキャンパス 起工式



留学生スピーチコンテスト(すみれ祭)



ふるさと宮まつり



オーストラリア保育研修



合流交流研修(東武ワールドスクウェア)



合宿交流研修(鬼怒川温泉)



新入生歓迎BBQ大会(宇都宮シティキャンパス)



まちなかX'masコンサート(宇都宮シティキャンパス)



スキー実習(那須高原)



すみれ祭(宇都宮シティキャンパス)



大学生によるまちづくり提案第1位受賞



那須塩原市まなび博(那須キャンパス)

CHRONOLOGY 須賀学園 年表(2001年～2020年)

2001年	平成13年	4月	普通科に医歯薬特進コースを設置 長坂キャンパスに3号館(福祉実習室・図書館・学生ホール)を増設 宇都宮短期大学に人間福祉学科(社会福祉・介護福祉専攻)を設置		2010年	平成22年	3月	宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパスに教育厚生棟を増設	
		9月	ニュージーランド・ハウィックカレッジより研修団来校		2011年	平成23年	4月	宇都宮共和大学に子ども生活学部を設置(長坂キャンパス) 長坂キャンパス5号館(保育実習室・大講義棟等)を増設 普通科に特別選抜コースを設置	
2002年	平成14年	11月	須賀淳校長「勲三等瑞宝章」受章		2012年	平成24年	6月	ヤオハン宇都宮店にて地産地消のパン販売開始	
		4月	普通科 英進コースに代わり応用文理コースを設置 中国・四川大学より訪問団来校				9月	大使館ウィーク in Nikkoレセプションにて各国大使をおもてなし	
		6月	佐野眞一先生文化講演会開催				11月	ファミリーマートとの共同開発による新商品(おむすび・お弁当)を発売 河野裕子短歌賞「青春の歌」NHK出版賞 受賞 普通科 樺沢広之君 第95回全国高校野球選手権大会キャッチフレーズコンクール「優秀賞」受賞 普通科 町田元君 第5回田辺聖子文学館ジュニア文学賞読書体験記部門「最優秀賞」受賞 普通科 野澤晴奈さん 第5回田辺聖子文学館ジュニア文学賞 学校賞・文部科学大臣奨励賞 受賞 NHK全国俳句 ジュニアの部「特選」受賞 中学3年 小倉賛子さん きのこ料理コンクール「最優秀賞」受賞 中学1年 堀田二千花さん	
2003年	平成15年	4月	那須大学学長(現 宇都宮共和大学)に須賀英之先生が就任 普通科 特進コースを医歯薬特進・国公立特進・スーパー特進に細分化 宇都宮短期大学に人間福祉学科(幼児福祉専攻)を設置		2014年	平成26年	1月	オーストラリア海外語学研修・京都研修旅行開始 第2グラウンド(サッカー場)に人工芝敷設	
		7月	第58回全国高校総合体育大会(ソフトテニス男子個人の部) 第9位 吉永・大塚組		2015年	平成27年	4月	宇都宮短期大学附属中学校・高等学校校長に須賀英之先生が就任	
		8月	全国中学校水泳競技大会(飛び込みの部) 第12位 中学3年 新里幸宏君		2016年	平成28年	2月	ドイツサッカー研修旅行開始	
		10月	英国トムリンスコート・カレッジ訪問団来校				4月	宇都宮短期大学音楽科に邦楽専攻コースを設置 長坂キャンパスに「こどもの森」を整備	
2004年	平成16年	12月	全国調理師養成施設協会より表彰 第19回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会(毛筆の部)「日本武道館賞」受賞 高校2年 高橋美穂さん				9月	長坂キャンパス1号館にアンサンブルホールを開設 第3体育館(バドミントン・柔道・ダンスルーム)を増設 全日本中学生水の作文コンクール「優秀賞・厚生労働大臣賞」受賞 中学2年 安藤萌々愛さん 水道100周年 下水道50周年記念「下水道いろいろコンクール」書道部門 「最優秀賞」受賞 中学3年 江口慧君	
		4月	宇都宮短期大学学長に須賀英之先生が就任		2017年	平成29年	4月	宇都宮短期大学創立50周年記念式典を挙行	
		8月	須賀学園教育会館・第2グラウンド(サッカー場)開設				6月	第4グラウンド(硬式野球場)開設 第3体育館が栃木県「マロニエ建築賞」優良賞を受賞 第61回全国学芸サイエンスコンクール「旺文社赤尾好夫記念賞(銅賞)」受賞 普通科2年 金谷紗世子さん 第50回おかねの作文コンクール「特選・日本PTA全国協議会会長賞」受賞 中学1年 吉澤奈々さん 産経ジュニア書道コンクール「産経国際書会理事長賞」受賞 中学3年 東拓真君 第61回全国学芸サイエンスコンクール 書道の部「旺文社赤尾好夫記念賞」受賞 中学3年 東拓真君	
2005年	平成17年	4月	宇都宮短期大学音楽科に音楽療法士専攻コースを設置		2018年	平成30年	4月	宇都宮短期大学音楽科に吹奏楽・アンサンブル演奏コースを設置 宇都宮短期大学附属中学校・高等学校にラーニング・commons教室を開設 第101回全国高校野球選手権大会キャッチフレーズコンクール「特別賞」受賞 普通科 久保田綾乃さん	
2006年	平成18年	1月	イタリア海外研修旅行開始		2019年	平成31年	4月	宇都宮短期大学に食物栄養学科を設置 須賀淳先生が学園長に就任、須賀英之先生が理事長に就任 「リアルドラゴン桜」・「アスリートサポート」始動	
		4月	全国初の学内コンビニ「ファミリーマート宇短附店」オープン(現在は落合書店PLUS・MARCHE) 那須大学都市経済学部都市経済学科を宇都宮共和大学シティライフ学部シティライフ学科に名称変更 宇都宮共和大学に宇都宮シティキャンパスを開設				7月	全国高等学校総合文化祭 弁論の部「第2位・文化庁長官賞」受賞 普通科2年 阿賀愛紗さん	
		8月	全国高等学校総合体育大会(剣道競技) ベスト8 高校3年 渡曽理紗さん 全国高等学校総合体育大会(ソフトテニス男子個人) 第3位 高校3年 荒川達哉君・高橋由真君ペア 全国高等学校総合体育大会(水泳競技) 第12位 高校1年 藤田理恵子さん				11月	宇都宮共和大学 創立20周年記念式典を挙行 仏ヴォークリュース県・栃木県友好30周年記念交流 内閣府「心の輪を広げる体験作文」中学生区分「佳作」受賞 中学3年 湯沢杏夏さん 第44回全国「ごはん・お米と私」作文・図画コンクール「全国農業協同組合中央会会長賞」受賞 中学1年 表倉惟月さん	
		9月	ニュージーランド・マヌカウ市セント・ケンティンガンカレッジ訪問団来校		2020年	令和2年	1月	宇都宮短期大学附属高等学校で帰国子女入試開始	
2007年	平成19年	10月	長坂キャンパスに多目的アリーナを増設				11月	須賀学園 創立120周年	
		11月	宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパスが栃木県マロニエ建築・景観賞を受賞						
		3月	第12回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール(フルート部門)第5位入賞 音楽科3年 大越絵梨花さん						
		7月	フランス・オルレアン市学生訪問団来校 全国高等学校総合体育大会 第5位入賞 ソフトテニス部男子団体			令和元年	7月	全国高等学校総合文化祭 弁論の部「第2位・文化庁長官賞」受賞 普通科2年 阿賀愛紗さん	
		9月	オーストラリア・サマセットカレッジから交流団来校						
		12月	第17回日本クラシック音楽コンクール 第4位 音楽科3年(ファゴット専攻) 柿沼麻美さん						
2008年	平成20年	7月	中国浙江省から高校生交流代表団来校						
		8月	全国高等学校総合体育大会 第5位入賞 ソフトテニス部男子団体						
		11月	台湾国立屏東女子高校から交流団来校						
2009年	平成21年	11月	日本ブルガリア国際音楽コンクール(ヴァイオリン部門) 全国第3位 音楽科2年 斉藤智子さん						